

てんえい 議会だより

No.148

令和元年10月30日発行

主な内容

- 令和元年9月定例会 …………… P2～6
- 4議員が一般質問…………… P7～11
- 村議会・議員の活動 …………… P12～13
- 清酒で乾杯イベント …………… P14



内容は14ページ記事をご覧ください。

9月定例会 [会期] 9月9日～17日まで

平成30年度決算を認定

令和元年9月定例会では、財政健全化判断比率についての報告や平成30年度決算、教育委員の任命、条例改正など、42議案(報告1件含む)が提出され、原案どおり認定・可決しました。

また、継続審査3件を含む5件の陳情を審議し、継続審査2件、不採択3件という結果となりました。開会日には、4名の議員が一般質問を行い、村長の選挙公約や村有施設などについて問いました。

黒字

平成30年度における決算状況は？

一般会計

歳入総額 51億1,112万7,791円(前年度比8,555万445円 減)
歳出総額 49億2,825万8,102円(前年度比4,424万757円 増)
翌年度に繰り越すべき財源 3,093万7,000円
実質収支額 1億5,193万2,689円

特別会計 (13会計)

歳入総額 18億4,805万6,091円(前年度比2億1,512万6,212円 減)
歳出総額 17億4,325万9,497円(前年度比1億9,599万4,941円 減)
実質収支額 1億 479万6,594円

水道企業会計【(収益/収入1億4,444万9,707円 支出1億3,225万2,798円)(資本/収入1億2,559万円 支出1億6,284万3,981円)】など、全ての決算審議は、原案のとおり全会一致で認定されました。

監査委員の審査意見



常松秀夫
代表監査委員

財政構造

財政力指数は前年度と比較して概ね横ばいとなっている。また、実質公債費比率も前年度と比較して横ばいとなっているが、経常収支比率はやや低下しているため健全性を維持していると認められる。

村税等

村税の徴収率・収納額は共に増加しているが、収入未済額は9,973万円余りと依然として高額である。負担の公平性の観点からも、地方税法に基づく厳正な滞納処分並びに不能欠損処分などにより、収入未済額の縮減や徴収率の向上を図るとともに、適正公平な課税に努められたい。

また、多額の収入未済額が生じていた定住促進住宅使用料については、継続的な臨戸訪問を実施している成果もあり、収入未済額が減少している。今後も引き続き早期回収に努め、新たな収入未済が生じることのないよう努力願いたい。

村施策

村有施設については、平成30年度の学校給食センター改築工事に着手した以外、経費が増大した施設は見受けられない。今後は、経年劣化等による施設の老朽化により、維持管理経費の増加が懸念されるため、将来の財政負担を考慮しながら、施設の維持管理に努められたい。

特別会計

各特別会計は、特定の事業を行うため又は特定の歳入をもって特定の歳出に充てるため、国民健康保険特別会計など13会計を設置して、その経理の明確性を図っている。各種事業の執行は、全体的には良好なものとなっている。今後も従来に増して歳入歳出両面にわたって財政運営に工夫をこらし、各種事業の推進にお一層努められたい。

水道事業会計

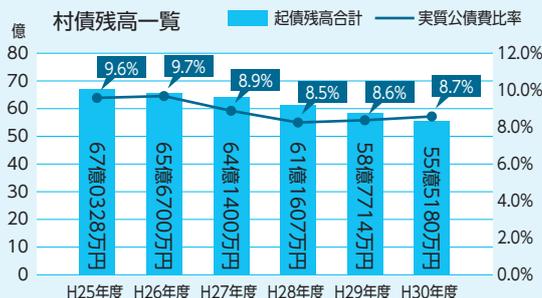
水道事業会計については、過年度繰越水道料金の収納についても、継続して努めていただき、所在不明者など徴収が困難なものについては、不能欠損等の手続きを含め、今後ともなお根気強く未収金の回収に努力されたい。

財政健全化の状況と予算の使い道

地方公共団体の財政の健全化は？

一般会計及び各事業会計ともに資金不足はなく、実質公債費率も8.7%で、早期健全化基準を16.3%下回っていることから、村の財政は健全な状態である旨の報告がありました。

また平成30年度末の村債残高は、一般会計・特別会計（農業集落排水・簡易水道）・上水道事業会計をあわせ、およそ55億5,180万円となっています。



歳出予算の主な使い道は？

平成30年度決算の中で、決算額とどういった事業を行っているのかについて、とりあげました。

総務費

決算額およそ
8億3,710万円

- 地方創生事業 (移住定住促進、空き家改修等)
- 集会施設整備事業補助
- こども未来応援事業

民生費

決算額およそ
6億4,200万円

- 高齢者生きがい活動支援事業
- 放課後児童クラブ事業
- 子育て世代包括支援センター事業

衛生費

決算額およそ
7億3,355万円

- 除染土壌等仮置場原状回復事業
- 各種がん検診事業
- 各種予防検診事業

農林水産業費

決算額およそ
11億3,972万円

- 道の駅「季の里天栄」用地購入
- ため池底質除去事業
- ふくしま森林再生事業

商工費

決算額およそ
4,607万円

- 地域おこし協力隊事業
- 風評被害対策商工業振興事業 (てんえい商工祭等)
- 合宿誘致助成事業

土木費

決算額およそ
4億3,147万円

- 社会資本整備総合交付金事業 (橋梁補修工事、児渡滝田線道路改良工事等)
- 新生活・住まいづくり応援助成事業

消防費

決算額およそ
1億9,058万円

- 旗布用ハザードマップ作成事業
- 小型動力ポンプ付積載車購入事業
- 災害備蓄用資材購入事業

教育費

決算額およそ
4億7,791万円

- 天栄中学校ブロック塀等改修事業
- 給食センター整備事業
- 放課後子ども教室推進事業

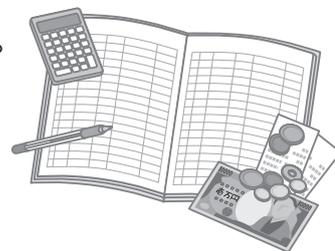


こども未来応援事業(警察官になりたい)

平成30年度一般会計決算についての 議員質疑と答弁

Q [揚妻議員]
村民税・固定資産税の収入未済額が高額であるが、100万円を超えるものは何件あり、それぞれどのくらいの金額を滞納しているのか。また、最も高額な滞納者に対して村はどのような対応を行っているのか。

A [税務課長]
滞納額が100万円以上のものは、村県民税1名、固定資産税7名となっており、村県民税については約175万円、固定資産税については約5,398万円、542万円、355万円、188万円、149万円、130万円、102万円となっております。対応といたしましては、誓約書を出していただき、実質的に納付できる額を納めていただいております。



議論となった浮棧橋

Q [揚妻議員]
浮棧橋の解体について、積算業務委託料とあるが解体費用はどのような見積りとなったのか。また、今後撤去を行うのか。

A [産業課長]
概算で3,800万円という見積りが出ております。

[村長]
老朽化してきた公共施設も出てきておりますので、維持費等も見ながら、今後の公共施設のあり方を考えていかなければならない。また、撤去費用などが財政を圧迫するようであれば、財源を確保するなど、今後の方向性を決めていかなければならないと考えております。

Q [北畠議員]
水利施設管理費として県の方から574万円の委託金を受け管理をしているが、防災ダム事業負担金800万円というのはどういう内容なのか。

A [産業課長]
竜生ダムについては県営ダムとなっておりますが、ダム堤体や管理事務所の老朽化や排砂の対策、防災警報器の設置など、県の防災ダム事業が5箇年で計画されております。大部分は県が負担しますが、村で4%、受益者負担ということで地元の土地改良区が2%を負担することとなっております。



竜生ダムの堤体全景



クラウドファンディング
返礼品カタログ

Q [渡部議員]
クラウドファンディングについて、ふるさと納税と同様に返礼品のようなものを準備しているのか。また、集まった金額はいくらなのか。

A [企画政策課長]
返礼品はふるさと納税と同様に用意しております。このクラウドファンディングは、総務省の関係人口創出モデル事業の一環として行われ、約197万円79名の方から寄付をいただきました。

※上記内容は抜粋となりますので、詳しい内容や他の質疑に関しては、会議録等をご覧ください。

主な議案審議の内容

Pickup!! 【議案第1号】 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

任期満了に伴う任命

同意

11月24日をもって清水栄一氏(牧本)の任期が満了となることから、引き続き同氏を任命するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、議会の同意を求めるものです。

清水氏は、教育委員会委員として平成23年11月から努められており、人格・識見に優れ、教育に関する経験も豊かであるため、引き続き任命されました。任期は4年です。



Pickup!! 【議案27号】 令和元年度一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ1億6,214.2万円を追加 予算の総額を48億5,800.5万円へ

可決

増額補正の主なもの

鳥獣被害対策

- ・イノシシ捕獲管理事業補助金 115万円
- ・鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業補助金 150万円

Q [熊田議員]
イノシシ捕獲管理補助金等の予算が上がっているが、内訳はどのようになっているのか。

A [産業課長]
イノシシの捕獲頭数が当初の見込みよりも増加しており、県から1頭1.3万円の50頭分の補助がもらえることとなっています。その他に村からも1万円上乗せで補助しているため、県からの補助金65万円に村からの50万円を追加した金額となっています。
また、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業補助金については、猟期外における有害駆除への補助2万円の75頭分を計上しています。



捕獲頭数が増えているイノシシ

消防費

- ・火災警報器設置補助金 120万円



9月定例会その他審議結果一覧表

	事 件	内 容	結 果	
報告	1 地方公共団体の財政の健全化に関する比率の報告について	P3を参照	—	
議案	1 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	P5を参照	原案可決	
	2 天栄村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	住民基本台帳法施行令等の改正に伴う所要の改正	原案可決	
	3 天栄村特定教育・保育施設等の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	子ども・子育て支援法の改正に伴う所要の改正	原案可決	
	4 天栄村大山地区排水処理施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	いずれも消費税率の改正に伴う料金の改訂	原案可決	
	5 天栄村農業集落排水処理施設設置条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	
	6 天栄村簡易排水処理施設設置条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	
	7 天栄村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	
	8 天栄村水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	
	9 天栄村簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	
	10 天栄村二岐専用水道条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	
	11 工事請負契約の一部変更について		今坂区仮置場原形復旧工事請負契約の契約金額を一部変更	原案可決
	12 平成30年度天栄村一般会計決算認定について		P2～4を参照	認定
	13 平成30年度天栄村国民健康保険特別会計決算認定について		特別会計(13会計) 歳入総額: 18億4,805万6,091円 歳出総額: 17億4,325万9,497円 実質収支額: 1億 479万6,594円	認定
	14 平成30年度牧本財産区特別会計決算認定について	認定		
	15 平成30年度大里財産区特別会計決算認定について	認定		
	16 平成30年度湯本財産区特別会計決算認定について	認定		
	17 平成30年度天栄村工業用地取得造成事業特別会計決算認定について	認定		
	18 平成30年度天栄村大山地区排水処理施設事業特別会計決算認定について	認定		
	19 平成30年度天栄村農業集落排水事業特別会計決算認定について	認定		
	20 平成30年度天栄村二岐専用水道特別会計決算認定について	認定		
	21 平成30年度天栄村簡易水道事業特別会計決算認定について	認定		
	22 平成30年度天栄村簡易排水処理施設特別会計決算認定について	認定		
	23 平成30年度天栄村介護保険特別会計決算認定について	認定		
	24 平成30年度天栄村風力発電事業特別会計決算認定について	認定		
	25 平成30年度天栄村後期高齢者医療特別会計決算認定について	認定		
	26 平成30年度天栄村水道事業会計決算認定について	P2を参照	認定	
	27 令和元年度天栄村一般会計補正予算について	P5を参照	原案可決	
	28 令和元年度天栄村国民健康保険特別会計補正予算について	事業勘定歳入歳出4,292.7万円追加 診療施設勘定歳入歳出342.2万円追加	原案可決	
	29 令和元年度牧本財産区特別会計補正予算について	歳入の補正	原案可決	
	30 令和元年度大里財産区特別会計補正予算について		原案可決	
	31 令和元年度湯本財産区特別会計補正予算について	歳入歳出7千円減額	原案可決	
	32 令和元年度天栄村工業用地取得造成事業特別会計補正予算について	歳入歳出88.8万円追加	原案可決	
	33 令和元年度天栄村大山地区排水処理施設事業特別会計補正予算について	歳入歳出39.5万円追加	原案可決	
	34 令和元年度天栄村農業集落排水事業特別会計補正予算について	歳入歳出588.2万円追加	原案可決	
	35 令和元年度天栄村二岐専用水道特別会計補正予算について	歳入歳出5千円減額	原案可決	
	36 令和元年度天栄村簡易水道事業特別会計補正予算について	歳入歳出46.5万円追加	原案可決	
	37 令和元年度天栄村簡易排水処理施設特別会計補正予算について	歳入歳出58.8万円追加	原案可決	
	38 令和元年度天栄村介護保険特別会計補正予算について	歳入歳出2,111.5万円追加	原案可決	
	39 令和元年度天栄村風力発電事業特別会計補正予算について	歳入歳出421.3万円追加	原案可決	
	40 令和元年度天栄村後期高齢者医療特別会計補正予算について	歳入歳出35.1万円追加	原案可決	
	41 令和元年度天栄村水道事業会計補正予算について	資本的収入及び支出1,550万円追加	原案可決	

村政を問う



令和元年9月定例会の一般質問は、9月9日に行われました。
天栄村議会の一般質問は、答弁を除く議員の発言時間を40分とした一門一答式のスタイルをとっています。質問内容は抜粋となりますので、興味のある方は会議録の閲覧もできます。

1 9番 後藤 修 議員 P8

- 1 選挙公約と新しい村づくりについて
- 2 子どものいじめや虐待の実態は

2 7番 渡部 勉 議員 P9

- 1 村長三期目に実現すべき課題は
- 2 旧羽鳥小学校の建物及び跡地の利用について

3 3番 大須賀 溪仁 議員 P10

- 1 猟友会(鳥獣被害対策実施隊)への支援策は

4 4番 服部 晃 議員 P11

- 1 小学校の統合問題について
- 2 認知症予防対策への取り組みは

議会の豆知識

一般質問



「議会」は、住民の皆さんに代わって村の行財政の運営を監視する役割があります。

一般質問は、その議会を構成する「議員」に与えられた権利です。村の事務の執行状況や村の将来への考え方について報告や説明を村長に求めることができます。村民のための適切な村政運営が図られているか、質問を行っています。



1 選挙公約と新しい村づくりについて

議員

無投票で3期目の当選をされた添田村長はその人間性と8年間の実績が評価されたものと思います。また、その責任も重大かと思われませんが、選挙公約と新時代にふさわしい新しい村づくりの考えは。

村長

- ・安心安全の環境づくり
- ・心と体の健康づくり



笑顔あふれる保育参観

- ・少子化と人口減少に対応
 - ・高齢者・障がい者への支援
 - ・教育の充実
 - ・地域を活かした産業づくり
 - ・持続できる村づくり
- の7つを重点課題に掲げ、すべての世代が夢や希望・生きがいを
持つ村づくりに取り組んで参
ります。

2 子どものいじめや虐待の実態は

議員

将来のある子どもの命を大事にしない大人がいることが非常

に残念で、その行動に理解ができません。
また、学校でのいじめ等を含め、村内の事案の実態は。

教育長

過去3年間では、早急な対応が必要な身体的虐待の通告はありませんが、擁護相談等の件数は増加傾向にあり、各関係機関と連携を図り、家庭支援を行っています。

議員

いじめの件数は、全国的に増加傾向にあります。本村でもいじめの認知件数は大幅に増えておりますが、これは早期解決に向けた速やかな対応がなされるようになった結果であり、認知した事案のほとんどは早期に解消されております。

いじめの種類は、殴る、蹴る、言葉の暴力、仲間はずれ、スマホでの嫌がらせ等、いろいろあるが、不登校や自殺につながる危険がある事案はないか。

教育長

そのような悲しいことにならないよう、少しいの様子の変化にも注意をしており、今まで不登校の子どもはおりません。

議員

児童相談所は近くにはどこにあるか。

住民福祉課長

郡山市にございます。

議員

ソーシャルワーカーは村では何人依頼しているか。

住民福祉課長

1名依頼しており、教育委員会に3日、住民福祉課に2日勤務していただいております。





1 村長3期目に 実現すべき課題は

議員

村長も、この先4年いろいろ取り組むべき課題は多くあると思いますが、その中でも重点を置いて実現すべき課題は何か具体的事業名をあげて、5点ほどお答えください。

村長

1つ目は、少子高齢化と人口減少に対応するため生きがいを



小学校での体験授業にて(ブリティッシュヒルズ)

持って安心して暮らせる環境づくり。

2点目は、安心安全の環境づくりとして、災害への備えと、防災意識の高揚。

3点目は、教育の充実として、子ども達が社会を生き抜いていく力、学力・体力・精神力を養うための環境を整えるとともに、愛村心をはぐくむためのふるさと教育を進め、次代を担う人材

を育成。

4点目は、地域を活かした産業づくりとして、地場産業である農業、商工観光業の振興発展と担い手の育成。

5点目は、持続できる村づくりとして、次の世代に重荷とならないように、村民の皆様との協働によって、未来に続くふるさと・天栄をつくることを重点に全力で取り組んで参ります。

2 旧羽鳥小学校の 建物及び跡地の 利用について

議員

旧羽鳥小学校は閉校してからしばらくは借りる人もあり、それなりに管理されていましたが、今では無人になり老朽化が進んでおります。

村は今後この建物、跡地をどのようにするのが考えを伺いたい。

村長

旧羽鳥小学校の建物につきましては、平成14年3月の廃校後、平成16年4月から平成27年11月まで、建物の維持管理

を条件に、個人に貸し付け、その後は借り手がいない状態が続いております。

現在、老朽化が進んでおり、貸し付けるにはかなりの修繕が必要であることから、費用対効果を十分に検証したうえで、取り壊しも視野に、方向性を出していきたいと考えております。



廃校となった旧羽鳥小学校



村長

1 猟友会(鳥獣被害対策実施隊)への支援策は

議員

本村において、猟友会の方々は忙しい中、有害鳥獣の駆除対策に年間を通して活動していただいております。

現在、猟友会について年齢的な問題、人員不足の問題等の声が聞かれます。有害鳥獣被害の減少が見通せない現在において、早急な対策が求められるが、村での対応策を伺いたい。

天栄村鳥獣被害対策実施隊

は現在、12名により、村内のワナの設置や有害鳥獣の捕獲駆除及びパトロールや村内の鳥獣被害状況の確認などの活動を行っていただいております。今年度においては既にイノシシ90頭、ツキノワグマ10頭、ニホンシカ5頭、ハクビシン10頭を捕獲し、地域の有害鳥獣駆除に寄与していただいております。

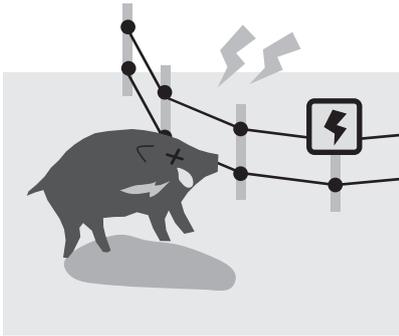
しかしながら、指摘があります。まずように隊員の高齢化は顕著であり、新たに第一種銃猟免許保持者を育成しなければ、今後、隊員数は減少していくことは否めません。

一方で有害鳥獣による被害、特にイノシシによる農作物の被害範囲は村内において拡大の二途を辿っており、生産者自らが電気柵等を設置して防衛し、村は設置補助等により生産者支援を行っておりますが、有害鳥獣の個体を減らさないことには抜本的な解決には至らず、その

ためには鳥獣被害対策実施隊の活動は非常に重要であると認識しております。

村では現在、実施隊に対する活動補助金の交付、狩猟保険の加入料の補助、無線電波使用料及びワナの購入補助の他、捕獲頭数に応じた補助金の交付を行っているとともに、生産者に対するワナ猟免許の取得を推進し、免許取得の支援やその後の講習を実施しております。

今後においても村民の有害鳥獣駆除に対する意識の醸成を図り、駆除が円滑に実施できるよう鳥獣被害対策実施隊への支援を進めてまいります。



鳥獣被害対策実施隊の皆さん



1 小学校の統合 問題について

議員

現在、村内には4つの小学校があり、子ども達はそれぞれの小学校において学んでおります。しかし、そのうち2つの小学校の中で、複式学級が存在しているのは、非常にさびしい限りです。

また、保護者からも義務教育の公平性を不安視する声も聞かれます。

今後の小学校の展望について



つなぐ教育研修公開

このような状況を踏まえ「天栄村立小中学校のあり方検討委員会(仮称)」を設置するものであります。

本委員会の委員としては、多方面からの意見をいただくことが重要であると考え、村議会議員をはじめ、学識を有する大学教授や教育関係者として本村校長会長、保護者代表者、地域の有識者等、約20名を選んだところであり、教育委員会から本村の望ましい学校づくりや方向性について諮問し、答申としてまとめていると予定であります。

教育長

村長及び教育長の考えを伺いたい。

現在、複式による学級編成を行っている小学校は、大里小学校と湯本小学校の2校であり、来年度においては、大里小学校で複式学級が2学級、湯本小学校にいたっては、4・5・6年生の在籍数が0人となる状況にあります。

2 認知症予防対策 への取り組みは

議員

介護保険料が値上がり村民の負担が増し、一般財源の給付費も

増えていると思うが、団塊世代が高齢化になってくれば負担がだんだん増えていくと思います。そのためにも高齢者の方々の健康予防が大切だと考えます。しかし、身体への予防に対しては、すでに様々な取り組みが成されておりますが、認知症に関しては今現在どのような対策をとられているのか伺いたい。

村長

現在、高齢者への介護予防事業につきましては、湯つた

リミディサービス事業、体操サロン、水中ウォーキング事業等を展開し、元氣な高齢者の増加に努めております。

また、昨年度から重点的に実施しております「地域自主サロン」においても、体を動かすことはもちろん、手先を動かす制作活動により、脳の活性化が図られ、何気ない会話によっても、認知症の予防につながっているものと考えております。



認知症セミナー

この「地域自主サロン」は、地域の高齢者の方々が集まることで、相互の繋がりが強まり、地域全体で見守ることににより、認知症などの早期発見に繋がっていくものと感じております。

このような様々な取り組みにより、認知症への対策を行っているところであります。引き続き、これら事業の充実を図り、今後迎える団塊の世代の方々の高齢化に対して、積極的な施策を講じて参りたいと考えております。



▶宮城県七ヶ宿町議会来村／令和元年8月28日

てんえいの英語教育について視察

本村で実施している英語教育について視察したいと、宮城県七ヶ宿町議会が来村しました。

宮城県七ヶ宿町は、人口約1,500人、宮城県南部の白石市の西側に位置し、福島・山形の両県と境界を接している町です。

七ヶ宿町の小・中学校は、ともに小規模校ですが、情報化教育や英語教育に力を入れたいと考え、本村に訪れたところでした。

視察には議長と総務委員長が出席し、議長が歓迎の挨拶をし、その後、教育委員会学校教育課からの説明の後、各課題について意見交換を行いました。



学校教育課による説明

▶総務常任委員会所管事務調査／令和元年9月19日

総務常任委員会

新ごみ処理施設の稼働状況を調査

総務常任委員会(熊田喜八委員長)は、今年3月に完成したごみ処理施設の稼働状況について調査を行いました。新しいごみ処理施設は、岩瀬管内(須賀川市・鏡石町・天栄村)の家庭から排出される可燃ごみ等を焼却するために建設した施設で、1日に約95トンの可燃ごみを焼却する能力を持ち、また、24時間焼却や排ガス処理設備などにより有害物質の発生を抑え、ごみ焼却で発生した熱エネルギーを使い発電し売電するという、最新の技術を導入しています。担当課から施設の稼働状況について説明を受けました。

また、今年度完成予定の学校給食センターの工事の進捗状況や、村内に設置した防犯カメラの稼働状況についても調査をしました。



新ごみ処理施設で説明を受ける

▶産業建設常任委員会所管事務調査／令和元年9月19日

産業建設常任委員会

村内施設の運営状況等を調査

産業建設常任委員会(大須賀溪仁委員長)は、所管事務にかかる村内の施設の運営状況や現場の進捗状況などについて調査を行いました。

今回の調査では、ノーザンファーム天栄において、施設の運営状況について説明を受け、実際に施設内を見学しました。その後、高トヤ仮置場では搬出作業の運用状況について聴取し、本年度に一部搬出、令和2年度には搬出完了予定との説明を受けたほか、仮置場等を撮影するドローンを使用し、操作方法を体験しました。

また、大里塩平柏山線の改良舗装工事では、現場の進捗状況などについて説明を受けました。



ドローンの操作方法を確認

村議会・議員の活動

▶全国町村議会広報研修会／令和元年9月24～25日

議会広報常任委員会

読者目線の広報誌を目指して

町村議会広報委員の研修会が東京砂防会館において開催され、議会広報常任委員が参加しました。

研修では、「月刊総務」編集長の豊田健一氏による「読者目線で親切な広報誌を作るには」、朝日新聞校閲事業部長の前田安正氏による「情報をわかりやすく伝える」を演題として研修を受けました。

広報誌はページ数の制限があるため、全てを伝えきことは難しいということ。また、膨大な情報の中から、わかりやすく伝えるためには住民目線に立った編集を心掛けていくことが重要であることを再確認しました。



全国町村議会広報研修会

▶第89回オートキャンプ世界大会開会／令和元年9月28日

天栄村羽鳥湖高原に期間中延べ4,000人が集う

令和元年9月28日(土)から10月6日(日)の9日間にわたり開催された第89回オートキャンプ世界大会開会式に村議会議員も出席しました。

この世界大会では14カ国の参加者が訪れ、羽鳥湖高原を会場に村内イベントや県内各所への小旅行を行いました。天栄村の自然や美味しい食べ物、お酒、そして福島の今について、安心できることを感じていただけたのではないのでしょうか。

参加者の方々が笑顔で天栄村を楽しんでいただけたことを嬉しく思います。



開会式(内堀知事挨拶)

▶台風19号被害調査／令和元年10月23日

全員協議会にて被害状況を調査

台風19号による被害にあわれた方々におかれましては、心からお見舞い申し上げます。

今回の被害状況については、10月23日現在で約120箇所あり、今後も増える状況です。村議会では、そのうち特に被害の大きかった現場を重点的に調査しました。

中でも戸ノ内丸山線は、道路の法面が崩落し、通行に支障を来している状況です。現在は片側通行としておりますが、幹線道路でもあるため、早期の復旧が必要であります。

このような状況を受け、村議会でも早急な復旧が行われるよう、関係機関に働きかけを行ってまいります。



崩落した戸ノ内丸山線



清酒で乾杯!!

令和元年10月1日



10月1日「日本酒の日」に、全国で一斉に日本酒で乾杯をするイベントが行われました。昨年は台風接近のため中止となつてしまいましたが、今年はオートキャンプ世界大会の開催期間中となっており、大会の参加者も含め約330名が天栄村体育館に集まりました。

イベントでは、午後7時に一斉に乾杯を行い、新酒鑑評会でW受賞となった松崎酒造や寿々乃井酒造店のお酒や地元産品を使用した料理が振る舞われました。美味しいお酒と料理に、体育館内は終始笑い声が響いていました。



あなたも議会を傍聴してみませんか?

定例会は3月、6月、9月、12月に行われます。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

☎82-2101



議会のホームページをご覧ください

議会のホームページが開設されています。議会の概要、会議録(平成24年3月以降の定例会・臨時会)、議会だよりが掲載されています。



天栄村ホームページトップ → 天栄村議会 をご覧ください。

<http://www.vill.tenei.fukushima.jp/site/gikai/>

編集後記



近年異常気象による自然災害が各地で発生し、大きな被害がもたらされ、避難されている方の何と多いことか。

我が村においては、あの東日本大震災を除き、特に大きな被害もなく本当に住み良い村だと思っています。

この度、添田村長が無投票により、天栄村長として三選を果たされました。

所信表明の中で天栄村の自然と特性を活かした住み良い村づくりを努めると言っておられました。

村議会としては、その意に沿えながらも、事業内容と予算にはしっかりとした議論と精査に努めて参ります。

議会広報により、それらの事が皆さんにお伝え出来ればと考えています。

《議会広報常任委員会》

- 委員長 服部 晃
- 副委員長 揚妻 一男
- 委員 熊田 喜八
- 委員 円谷 要
- 委員 後藤 修